

石川県原子力環境安全管理協議会 議事概要

1. 日 時：平成 28 年 10 月 3 日（月）13 時 30 分～14 時 25 分
2. 場 所：石川県庁 行政庁舎 11 階 1109 会議室
3. 出席者：委員 23 名、説明者、事務局他
4. 議事概要：

(1) 「志賀原子力発電所の運転状況等」について、北陸電力から説明があった。

(委員) 原子炉圧力容器における炭素偏析の調査について、メーカーの日本鑄鍛鋼では製造時のミルシートは残っていると思うが、鋼材サンプルは保管されているのか。また、フランスで日本鑄鍛鋼の製品に問題が起こったのか。

(電力) ミルシートは残っているが、鋼材サンプルの保管はない。製造方法を調査でしっかり確認していく。フランスでクルゾ社の製品に炭素偏析が問題となり、これと似た製造方法の日本鑄鍛鋼の製品が調査対象となった。

(議長) 設置変更許可申請後も安全性向上施策の工期延長を行う必要性について、具体的に説明されたい。また、今後も工期の変更はあり得るのか。

(電力) 設置変更許可申請段階において当時の新規制基準の解釈をしっかり踏まえ申請したが、新規制基準は機能要求であり、具体的対策は電力会社が検討することになる。

先行電力の審査対応を注目し、よりよい対策があればそれを積極的に検討し、反映することが安全向上を図るうえで不可欠と考えている。その結果として工期を再延長する可能性はあるということになる。

(2) 「志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書(案)(平成 27 年度年報)」、「志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書(案)(平成 28 年度第 1 報)(平成 28 年 4 月～6 月分)」、「志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書(案)(平成 27 年度第 4 報)(冬季)」、「志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書(案)(平成 27 年度年報)」について、事務局から説明があり、協議会として承認された。

(委員) 平成 27 年度の県志賀局の空間放射線の測定結果について、平均値に対し、最高値が高くなる傾向があるが、これは特定の測定器による影響なのか。

(事務局) 測定値が降雨による大気中の放射性物質の影響で高くなること、また積雪による遮蔽で低くなることが原因であり、測定場所によって変動はあるが、毎年同様の平均値が観測されている。

(3) 「原子力発電所に対する保安検査結果等」について、志賀原子力規制事務所から説明があった。

(4) 前回の議事概要について、事務局からホームページに公開している旨報告があった。